

第5回下井草駅周辺地区オープンハウスでいただいた主な意見

道路・交通面の課題解決に向けた3つの整備目標

- 1 コンパクトな交通結節点機能の強化
 - ・ 駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。
- 2 歩行者の安全性確保
 - ・ 車中心から人中心の空間へと転換し、安心して 通行できる道路空間を形成する。
- 3 みどり豊かにぎわい空間の創出
(集い溜まれる・みどり豊かな場所)
 - ・ 人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
 - ・ にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

○異論なし

○当然の内容で皆が納得できるもの。

○目標としてあたり前すぎ（少子化や高齢化を見据えて先手を打つようなアイデアを！）

○違うと思うものはないが、どこでも当てはまる感じ。具体的なイメージや下井草の特色につながりにくい。

○軸が不足している（生活環境・店舗環境・街づくり全体の評価が足りない）

整備計画図（たたき台）



- 駅南側のごちゃごちゃは危険だと日々感じていたので、少しでも解消されることを期待している。
- バスが通る場所が現在狭く、少しでも安全になるとよい。
- しっかりまとまっていてイメージが湧いた。
- 道路の狭さやバスと歩行者の距離（歩行者と車の分離）が安全に配慮されていてよい。都市の集約により安心・安全なまちができると嬉しい。
- 道路が狭いので、歩行者の安全性が確保されるのか心配。
- 北口は7時から9時は一般車両通行止めになっているが、交通量が増えることにどう対処するのか。
- 近隣の人達は家に移転するか、騒音が予想される。

（旧早稲田通り）

- 危険なのは旧早稲田通りであり、南側は困っていない。
- 旧早稲田通りに関してあまり触れられていない。
- 旧早稲田通りは、歩道が狭く、ベビーカーや傘を使うときにとても不便を感じている。駅周辺まちづくりと同時に電柱の地中化なども進めてほしい。

その他

- オープンハウスでまちづくりに関われる場があるのは非常にうれしい。
リタイア世代中心の意見にならないようにしてほしい。
- 長期的な目線での計画の重要性が理解できた。
- 今できること・やっていることなどもあれば教えてもらう機会があると嬉しいし、できそうなことから実施してほしい。
- 北口の整備が必要。
- 実地・実態を見ての議論があるとよい。
- 安全性が確保された上で駅前に集まれる空間があるとよい。
- 駅周辺の発展は願うが、駅前道路の改善に対する杉並区等のコストに疑問を感じる。
- 今後の（※）エリアマネジメント等を検討する流れになるのであれば、商店街・このまちで働く人等を巻き込む方法を検討してもらいたい。
- 大学生などまちづくりをしているグループの意見を聞くなどしてみたらどうか。
- 商業施設の誘致なども進めてほしい。
- 住んでいる者として「自分事」として疑問や思っていることを表明していくことが大事。
- 将来どういう家族構成をイメージしているのか。計画には短期/長期の計画をしてほしい。
- 意見を言った人が自分の意見を反映してくれたと感じるような決定が必要だと感じているが、どれかに決める時の判断基準は何か知りたい。

※「エリアマネジメント」とは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組

出展：エリアマネジメント推進マニュアル（平成20年3月/国土交通省土地・水資源局）

（道路と鉄道の立体化）

- 踏切を無くしてほしい。
- 西武線の高架化が必要。
- 駅を地下にするのか高架にするのかで大きく変わる。この方針が出ない以上、無駄な議論になるのではないか。
- 東口にも改札を設けてほしい。
- 下井草地区をみどり豊かでコンパクトで住みよい街にするなら、地下化にして、駅近くに高齢者、子供の預かり、学習遊び等を集中させて、人の目にふれて安全に暮らせるほうが良い。